

金銭管理対策セルフチェックシート

項目		ポイント
<input type="checkbox"/>	① 預貯金の口座をまとめておく	銀行や郵便局などの口座を預金保険で保護される1000万円単位でまとめておくと把握しやすくなります
<input type="checkbox"/>	② 口座振替を活用する	事前に口座振替にしておくことで、支払い漏れを防ぐことができます
<input type="checkbox"/>	③ 定期預金を解約しておく	定期預金の解約などの契約変更は家族でもできないため、普通預金などの口座にしておく、認知症になり介護サービスが必要になった時などにその費用に充てることができます
<input type="checkbox"/>	④ 代理人カードを作っておく	口座名義人と生計を同じくする家族が預貯金を引き出すことができます(ご利用の金融機関にお問い合わせください。)
<input type="checkbox"/>	⑤ 財産目録を作成しておく	預貯金、不動産、証券、生命保険から各種ローンの負債にいたるまで、多岐にわたる財産を目録にまとめておきましょう
<input type="checkbox"/>	⑥ エンディングノートを書いておく	終末期の延命治療や葬儀の意向だけではなく、通帳や印鑑、株や保険関係書類の保管場所などもまとめられます
<input type="checkbox"/>	⑦ 任意後見人を選んでおく	認知症になる前に、家族や弁護士などの任意後見人を選任しておくことで、将来、財産管理を任せることができます
<input type="checkbox"/>	⑧ 家族信託の契約を結んでおく	家族と信託契約を結ぶことで、財産管理をしてもらったり、不動産の管理・売却などを代行してもらうことができます
<input type="checkbox"/>	⑨ 認知症の兆候をチェックしておく ※本人や家族が自治体や医療機関のチェックリストなどをもとに、兆候が出ていないかどうかを定期的に確認しましょう。	<input type="checkbox"/> 今日が何月何日かわからなくなる <input type="checkbox"/> 周りの人から「いつも同じ話を聞く」などの物忘れがあるとされる <input type="checkbox"/> 5分前の話を思い出せないことがある <input type="checkbox"/> お金の計算が難しく、お札での支払いが増えた <input type="checkbox"/> キャッシュカードの暗証番号が分からなくなってしまった <input type="checkbox"/> 通帳や印鑑をどこにしまったか分からなくなってしまった <input type="checkbox"/> 同じものを大量に購入してしまう 気になることがあれば地域包括支援センターにご相談ください。

※このチェックシートは、金銭管理方法を見直す際の参考としてお使いください

消費者トラブルの相談窓口

商品やサービスに関して、取引方法、契約、品質、性能、安全性、その他消費生活に関することについて、疑問や不審を感じたり情報を得たいときは、こちらにご相談ください。

【お問い合わせ】
消費生活センター(亀城プラザ1階)
TEL: 029-823-3928

～少しでもおかしいと思ったときは、一人で悩まず相談しましょう～



金銭管理が不安になったら

成年後見制度

認知症などで判断能力の不十分な方は、不動産や預貯金の管理をしたり介護サービスや施設入所などの契約を結ぶことが難しい場合があるので、このような方が不利益を被らないように家庭裁判所に申立てをして、その方を援助してくれる人を法的に選定してもらう制度です。

【お問い合わせ】
成年後見センターつちうら(土浦市社会福祉協議会内)
TEL: 029-821-1153



日常生活自立支援事業

認知症などによって、ものごとの理解・判断が難しくなった方が、自立した生活を送れるように、お金や印鑑などの管理、福祉サービスの手続きなどの支援を受けられます。

【お問い合わせ】
土浦市社会福祉協議会 生活相談係
TEL: 029-821-5995



地域包括支援センター

地域包括支援センターは、高齢者やご家族の皆様が、いつまでも健やかに住み慣れた地域で生活していけるよう、専門の知識を持った職員が、保健・介護及び福祉・医療の、さまざまな方面から支援します。

【お問い合わせ】
地域包括支援センターかんだつ
担当地区: 二中地区、五中地区、都和地区、新治地区
TEL: 029-869-7035

地域包括支援センターうらら
担当地区: 一中地区、三中地区、四中地区、六中地区
TEL: 029-824-0332

